うきは 市議会だより

令和6年
2月1日

令和5年
12月議会号 No.76

傍聴中の浮羽究真館高等学校の生徒さん

CONTENTS

P2～P3　主な議案
P4～P9　市政を問う！ 一般質問
P10　常任委員会報告
P11　議会運営委員会
P12　市民の声・表紙紹介

令和5年度12月定例会

会期 令和5年12月8日～20日（13日間）

【上程された議案】

- ▼報告 …… 1件
- ▼議案 …… 16件
- ▼意見 …… 1件
- ▼追加議案（議案・意見） …… 2件

「令和6年うきは市二十歳の集い」が行なわれました。
280名の皆さんのご活躍を期待します。（写真は実行委員の皆さん）

主な議案

7月の豪雨災害に見舞われたうきは市への国の災害査定が12月末には確定するとの報告がありました。

復旧工事を急ぐことから、うきは市財政調整基金より復旧予算を全額支出していましたが、農林水産業施設災害復旧債の発行と、公共土木施設災害復旧事業債、防災対策事業債、緊急防災減災事業債の増額補正、そして国・県からの負担金や補助金の交付を受け、財源の組替を行うことへの審議・審査を行いました。

また、消費者物価指数が引き続き上昇する中、国の経済対策臨時交付金の12月給付に向けて、審議・審査を行いました。

以下、主な議案について報告します。

和解及び損害賠償の決定について（専決処分の報告）

車両破損による損害補償　6万6千円

農業委員会委員の任命

令和6年3月で任期が切れる農業委員会委員の任命に同意しました。任期は3年間です。

16名中、新任8人
再任8人
（うち女性委員4名）

うきは市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

令和5年11月17日、人事院勧告を受けた給与法の改正に基づき、給与表の改定及び期末勤勉手当を増額するもので、平均改定率は1・1％になります。

なお、給与表の改定は令和5年4月1日からとなります。

関連して、特別職・議員の期末手当について年0・1ヶ月の増額、再任用職員が年0・05ヶ月の増額となります。

また、会計年度任用職員は、令和6年4月1日より、期末手当を年0・05ヶ月増額し、新たに勤勉手当を年間0・75ヶ月支給する改定となります。

更に、保育園長・保育所長の職務級を1等級上げる改正を行うことを審議し、可決しました。

うきは市国民健康保険税条例の一部改正

健康保険法等の一部を改正する法律（国）が令和5年7月20日公布され、改正するもので、うきは市国民健康保険に加入する世帯で、出産予定の被保険者の保険税を減額します。具体的には出産予定月の前月から出産翌々月までの4か月間の「所得割額」と「均等割額」を全額減額します。

（令和6年1月1日施行）

＊令和5年11月出産された世帯から対象になります。

物価高騰対応住民税非課税支援給付金

エネルギー・食料品価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり7万円が給付されます。

（支給対象者）

令和5年12月1日時点でうきは市の住民登録があり、世帯全員令和5年度住民税均等割が非課税の世帯です。

詳しくは市のホームページをご覧ください。

令和5年度一般会計補正予算（第8号）

今回の補正予算総額は、6477万円を追加し、歳入・歳出の総額が192億8394万5千円となりました。

主な歳出

〈総務費〉

◆給与等人件費
2405万7千円
人事院勧告を受け改正を行い、職員の期末勤勉手当を改定します。共済費負担金を含みます。

◆ラグビータウンプロジェクト推進事業費補助金
950万円
全額、企業版ふるさと納税12社分を財源としています。

〈民生費〉

◆障害対策扶助費
5911万4千円
障害福祉サービス費等、及び障害児通所支援給付費の対象人数が増加したことによるものです。

◆生活保護対策扶助費
5000万円
生活保護世帯の内、高齢者の割合が増え、医療費増加によるものです。

〈農林水産業費〉

◆農業振興費
3024万3千円
農用地の畑地化事業に16・7haを予定し34件の申請に基づき事業が実施されます。

◆農地費
107万1千円
令和5年10月5日の耳納山麓土地改良区のパイプラインの破損による補修に係るうきは市分の負担金となります。

〈教育費〉

◆学校管理費
319万円
福富小学校の営繕工事費として、令和6年度の児童数見込みにより、教室が不足することから、教具室を改修し教室にするものです。

◆体育施設費
562万9千円
指定管理で事業を行っている、うきは市総合体育館（うきはアリーナ）の電気代高騰により、契約に基づき委託管理料を増額するものです。
地方創生臨時交付金（物価高騰対策費）を財源とします。

〈商工費〉

◆観光費
1120万円
建設24年を迎えた総合交流ターミナル（道の駅）施設の老朽化が著しく、現場からの改修要望を受け、混雑解消と売り場面積拡大を図るため、改修工事を行う設計費です。

なお、道の駅周辺の開発が進み地域住民の交通安全面の懸念が出て、国土交通省に要望書が提出されていることを踏まえ、駐車場や周辺環境の改善を念頭に安全性を考慮した上で改修工事を行うよう、附帯意見を付けました。

うきは市つづら棚田交流センターの指定管理者の指定について

現在、指定管理者である、地元の「棚田保全協議会」に引き続き3年間管理を行うとのことです。
審査を付託された総務産業常任委員会で、「つづら棚田保全協議会のメンバー減少及び高齢化を踏まえ、今回の指定管理期間中に、次期指定管理のあり方と体制について検討を行うこと。また、農業保全を含めたつづら棚田地域の総体的な振興策を検討すること」の附帯意見を付け、承認しました。

― お詫びと訂正 ―

前号の議会だより（75号）に誤った記載がありました。お詫びして訂正させていただきます。

・7ページ本文中、令和4年度末の基金（預金）等の残高
○正：146億9,358万円　×誤：245億9,366万円
・7ページ本文中、前年度に比べた増加分
○正：8億628万円　×誤：107億636万円

12月議会 意見書

意見5号
▼イスラエル軍のパレスチナ自治区からの即時無条件停戦・撤退を求める意見書
【結果】趣旨には同意するが、意見書内容に疑義があり賛成少数で否決されました。

意見6号
▼森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書
【結果】全会一致で可決となり、衆参議長と内閣に送付します。

市政を問う！ 一般質問

1. 中山間地域の農村・農業を守る対策は — 野鶴 修 議員
2. 浮羽中学校校舎の現状と校舎営繕等の方針について — 樋口 隆三 議員
3. 東校跡地の活用について — 佐藤 湛陽 議員
4. 上水道事業の収支計画書はできているか — 中野 義信 議員
5. 浮羽究真館高校支援係設置を — 佐藤 裕宣 議員
6. 農業基本条例の制定を — 岩淵 和明 議員
7. ルリーロ福岡の戦績や地域貢献を踏まえた今後の支援のあり方は — 権藤 英樹 議員
8. えびの市は財政規模が小さくても全小・中学校30人学級だが — 竹永 茂美 議員
9. 今後必要となる介護士、ヘルパー等の人材確保の考えは — 熊懐 和明 議員
10. 地域の将来に向け、農業でアクティブラーニングを — 髙木 亜希子 議員
11. 防災にどこまで予算をかけるのか — 高松 幸茂 議員

のづる おさむ
野鶴 修 議員

1 中山間地域の農村・農業を守る対策は

自治協議会と協働で地域住民を対象とした座談会を実施している

市長

野鶴 新川・田篭地区については「集落としての成り立ちも難しくなって来ている。後5年は自分たちで頑張るけど、それ以降は難しい」と言っていた。早急な対策が必要と思うが。

市長 国の事業である中山間地等直接支払交付金や多面的機能支払交付金の活用、市の事業で進入路や畦畔等の小規模な基盤整備事業、山村振興補助金を活用し農地等の保全に努めている。更には、重点的に守るべき農地と林地化等をしていく農地の整理も必要と考えている。

野鶴 まずは、中山間地で守るべき農地と山林等に帰属していく農地、これをきちんと整理してもらいたい。2つ目は、集落営農組合の組織化である。個人の力だけでは農地は守れなくなっている。みんなで農地を守る集落営農組合づくりが必要だ。3つ目は、農作業の人材派遣センターの設立である。JAにじと協力して、営農組合や果樹農家等を支援する組織をつくるべきだ。朝倉光陽高校の「食農科学科」の生徒を学校と協議して人材確保できないのか。

農林振興課長 3点のご意見に関し、JAにじや関係機関と十分に検討していきたい。

誰が守る？
今後の中山間の農地

ひぐち りゅうぞう
樋口 隆三
議員

② 浮羽中学校校舎の現状と校舎営繕等の方針について

施設全体が老朽化状況であり見直しの検討を進めている

市長

樋口　市議会議員による中学校現地調査において、浮羽中学校は、天井、床、壁等に多くの経年劣化箇所が見受けられ、構造体の強度低下など、安全性に問題を感じるとの報告がなされた。
応急修理だけでは不十分、修理の必要があるが市長の見解と方針は。

市長　経過年数40年以上で広範囲に劣化が見られ、屋根、屋上の劣化評価はD評価で著しい劣化が生じており、施設全体が老朽化状況にある。
今後小中一貫校への移行等、浮羽町域の学校編成等も視野に入れ、校舎建て替えも含めて見直しの検討を進めている。

樋口　自治体には不登校の生徒にオンラインを活用した学びの場を提供しているところがある。これは、インターネット上のメタバース（仮想空間）に学校教室を開設して、学校に行けない子どもの居場所として活用されているもので、当市にこのシステムの導入は可能か。

教育長　不登校生への対応について「市子育てネットワーク会議」を年4回実施。また各中学校でスクールカウンセラー、適応指導教室職員、社会福祉協議会、教育委員会等で構成された教育相談部会を毎週開催し、近隣市町村では類を見ない支援態勢が確立されている。導入する考えはない。

さとう たんよう
佐藤 湛陽
議員

③ 東校跡地の活用について

市民の皆さんもご理解いただけるような活用方策について定めていきたい

市長

佐藤　東校跡地の現在の状況はどうなっているのか。

市長　住宅用地を基本に活用を図ってきたが事業者選定が不調に終ったことから、住宅用地を基本としつつ並行して企業誘致など用途を広げ取組を進めている中、今年の十月「ルリーロ福岡」からチームのホームグラウンドとして活用させてもらえないかとの要望を受けている。

佐藤　売却に至らなかった理由はなにか。

市長　建物の解体費の問題や発掘調査に係る費用と期間の問題など購入する事業者にとってはリスクになる。宅地分譲であれば規模が大きくなり、売れ残りのリスクが高まり、企業誘致では周囲を住宅が囲んでいるような環境にあってはいろいろ制約があることも影響している。

佐藤　山曽谷川の周辺整備計画について詳細を伺う。

市長　河道改修1・4キロメートル、調節池1か所を整備する計画となっている。用地取得及び詳細設計の完了後に工事に着手する予定となっていて、東校跡地に係る部分の改修範囲について先行して測量を実施している。

その他の質問
- 災害に強い町づくりについて
- 土砂災害・山崩れについて
- ため池について

なかの よしのぶ
中野 義信
議員

④ 上水道事業の収支計画書はできているか

年度内の完成に向けて取り組んでいる

市長

中野　昨年同じ一般質問をしたが、上水道事業について進んでないと思う。

市長　令和7年度頃の基本計画の前段階として、収支計画を示すことが重要と考えている。また、当市の地下水を生かす方法についても、市民や市内外の事業者等と様々な機会の意見交換等を通じ検討を深めていきたい。

中野　7月の集中豪雨で古墳周辺では床下浸水もあり、住民が不安を抱いている。市として、どのように理解しているか。

生涯学習課長　今回、地区の方から見上げて、ちょっと怖いというような意見を多数伺っている。しっかり説明していく。

市長　下流域の皆さんの心配・指摘もあるので、地元の対応も指示しておきたい。

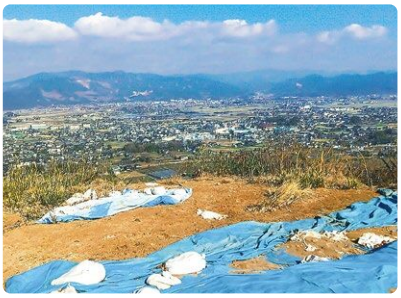
【西の城古墳について】

中野　耳納山麓（小坂・流川地区）に古墳の跡が見つかったと話題になった。今後の市の対応を伺う。

教育長　双方中円状を呈していることが判明。調査を実施している。

その他の質問

・審議会・協議会等の女性登用率
・藤波ダム公園の請願書



西ノ城古墳の墳頂部から見たうきは市内

さとう ひろのぶ
佐藤 裕宣
議員

⑤ 浮羽究真館高校支援係設置を

具体的な支援策について検討を進める

市長

佐藤　うきは市唯一の高校、浮羽究真館高校が毎年定員割れの状況にあるが、市長の見解を伺う。

市長　少子化や人口減少等により定員割れの状態が続いており非常に厳しい状況にある。

佐藤　市内唯一の高校存続のために、学校と行政をつなぐパイプ役として高校支援係を設置したらどうか。

市長公室長　今、浮羽究真館高校の支援にはラグビータウンプロジェクト推進係がそれを兼ねて当たっている。

佐藤　ラグビータウンプロジェクト推進係長は商工振興係長も兼ねている。本来であれば、生涯学習課辺りがその役を担うべきではないか。その中で、様々な課題に対して、行政側にどういった支援が求められるかを学校側と協議して行くべきではないか。

市長　学食の撤退など様々な課題に対して、学校側のご意見を踏まえたうえでしっかりと支援をしていきたい。

【空き家バンクについて】

佐藤　制度がある以上、登録件数がゼロはおかしいのではないか。

市長　今、古民家利活用の機運が高まってきている。空き家バンク制度についてもしっかりと活用を進めていきたい。

その他の質問

・東校跡地活用について

市内唯一の浮羽究真館高校

いわぶち かずあき
岩淵 和明
議員

⑥ 農業基本条例の制定を

現時点では考えていない

市長

岩淵　基幹産業と位置付ける農業は、担い手が不足し、今後の展望が見えない現状がある。5年10年単位で施策の展望を計画してはどうか。

市長　農業を取り巻く状況は、高齢化に伴う農業者の人口減少、担い手不足、資材高騰等厳しい状況と認識し、「農業経営基盤の強化に関する基本的な構想」を策定している。

岩淵　農業基本条例は、農業を市民全体で支え継承できるか問われていると思うが、認識はどうか。

市長　過去にうきは市農業振興レセプト会議を行い、議会の代表も参画した取組も行っている。

岩淵　農林振興課の人員を増やし体制強化を図るべきでは。

市長　農林業は本市の重要な基幹産業で、専門性の高い会計年度任用職員を配置している。

岩淵　うきは市はなぜ基本条例を作らないのか。

市長　代り得る構想を随時見直し制定の必要性は無いと思っている。

岩淵　基本的な構想は公表し議論をしているのか。

農林振興課長　JAにじ・福岡県普及センター・土地改良区などと協議して作成している。

減少が著しい実態

ごんどう ひでき
権藤 英樹
議員

⑦ ルリーロ福岡の戦績や地域貢献を踏まえた今後の支援のあり方は

ルリーロ福岡の活動は地方創生の取組そのものであり、引き続き支援に取り組む

市長

権藤　うきはラグビータウンプロジェクトの具体的な内容が分からない。

市長　しっかり整理して市民の理解をいただける対応をしていかなくてはならないと思っている。

権藤　ルリーロ福岡が頑張っている現状や学生が陸上競技を取り組めない環境がある。市民の生きがいづくりや健康づくり等も含めた「うきは市スポーツ推進計画」を策定すべきでは。

市長　ご指摘についてはしっかり受け止めたい。

【市の防災対策について】

権藤　地域防災計画にある避難行動要支援者対策について、個別支援計画の作成希望者数と作成の実績は。

市長　登録をしている避難行動要支援者1287名の方全てが計画を作成している。

権藤　持木地区の防災マップ作りに立ち会った。専門家を交えて行政区で避難場所を住民が共有するこのような機会を市として考えてみてはどうか。

市民協働推進課長　自主防災組織を強化していきたい。地元に入って、講習会や訓練の強化をしていきたい。

九州大学西山准教授の助言を受ける
持木地区の防災マップ作成の様子

たけなが しげみ
竹永 茂美
議員

⑧ えびの市は財政規模が小さくても全小・中学校30人学級だが

えびの市の取組をしっかり勉強させていただきたい

市長

竹永　えびの市は中学校給食無償化で保護者負担軽減している。うきは市では入学・卒業祝い、運動会などの経費をPTAが負担しているが本来、市が負担すべきでは。また、3校は準会員、賛助会員としてPTA会費を集めているが。

市長　社会情勢を見ながら、しっかりと対応していきたい。

竹永　今年度の小学校別通学路の工事予定は。

市長　吉井1箇所、千年1箇所、福富2箇所、江南2箇所、山春2箇所

竹永　夏休みの小学校別プール開放の実績は。

教育長　山春小PTAが8月10日まで、福富学童保育所が夏休み期間中の午前中開放した。他の小学校はPTAからの要望がなかった。

竹永　「こども基本法」には、子どもの意見を反映させるとあるが。

学校教育課長　児童の意見は集約していない。

竹永　学童保育所の意見はどうだったか。

福祉事務所長　6月調査では、学校が開放すれば学童保育所も使いたいがほとんどだった。

竹永　調音の滝公園と百年公園のプール監視員経費はいくらか。

建設課長　監視員経費に424万円支出した。

基本目標3　つづける【教育】
基本施策14　学校教育の充実
1少人数学級事業等きめ細やかな教育の推進
30人学級事業（担当：学校教育課総務係）
【予算額】6,550万円（財源：一般財源等 6,550万円）
【事業概要】
市内小中学校の全学年で30人学級編制を行い、少人数指導による一人ひとりに寄り添ったきめ細かな教育に取り組むため、市費負担臨時教員の任用を行います。

2023年度『えびの市のわかりやすい予算書』より

くまだき かずあき
熊懐 和明
議員

⑨ 今後必要となる介護士、ヘルパー等の人材確保の考えは

国・県の動向も見ながら、市として適切に対応していきたい

市長

熊懐　満室等の理由により、施設に入所できない要介護者の支援はどうするのか。

保健課長　担当のケアマネジャーが本人と家族の状況や意向等を踏まえてケアプランを作成し、在宅支援を行っている。

熊懐　福祉法に基づいて新設された、重層的支援体制整備事業の実施計画について伺う。

市長　令和6年度から本事業に向け、準備を進めている。また、実施計画についても今年度中に策定する予定。

【空き家対策】

熊懐　管理不全・特定空き家除去等の現状について伺う。

市長　特定空き家の取り扱いについても市民の皆様に周知しながら、可能な限り早期の解消に努める。

熊懐　今の空き家バンク制度内容で登録者は増えると思うのか。

ブランド推進課長　登録要件で見直しができるものについては、その必要があると考えている。

熊懐　一か所に集約した空き家担当部署の設置をする考えはあるか。

市長　今の体制でやった方が効率的に進めることができると思っており、この体制で続けていきたい。

放置された空家

たかき あきこ
髙木 亜希子
議員

⑩ 地域の将来に向け、農業でアクティブラーニングを

農業はクリエイティブ
子どもの頃からセンスを磨かなければ

市長

髙木　浮羽究真館高校生の課題発表会で「小学校から農業体験を」という意見があった。将来に向け市として農業科に取り組んでいる先進自治体を参考に、農業を使った生産から販売までのアクティブラーニング、このモデル事業に取り組んではどうか。また、外部人材を登用しつつ、市内全校の総合学習へ取り組めないだろうか。

教育長　市民大学の中で今後どのような取組であれば実施可能か研究していきたい。現在、5つの小学校では農業に関する総合学習を行っている。現時点では総合学習での農業科の取組と外部ボランティア登用までは考えていない。

髙木　市民大学では、興味のある家庭にしか関わりしろが無い。子どもを中心として地域の方々に巻き込まれて欲しいから、全庁的な取組を考えて欲しい。まずは先進自治体の視察や、担当職員の招聘などから取り組めないだろうか。

市長　これからの農業というのはクリエイティブな産業。小さい頃からセンスを磨いていかなければいけない。教育長とそういう視点で意見交換をしたい。

その他の質問
・民間への会計年度任用職員の包括業務委託について

ローカル＆農業
だからこそ
できる学びを！

たかまつ ゆきしげ
高松 幸茂
議員

⑪ 防災にどこまで予算をかけるのか

状況に応じてしっかり予算化する

市長

高松　降雨量の限界をどう想定し、それに対しどう予算をかけるのか。

市長　施設管理者のみでは対応に限界がある。
流域治水の考え方で、あらゆる関係者と協働している。状況に応じてしっかり予算化する。

高松　航空レーザー測量で古い土砂災害痕跡を把握し、防災マップの更新に反映しては。

市長　防災マップは科学的データにより県とも連携して作成する。「災害は歴史に学び逃げ遅れゼロ」パート1、2で過去の被災状況を発信した。

高松　豪雨災害の予防には、地球温暖化ストップが根本的な解決法。
市民の具体的行動のため、もっと啓発が必要では。

市長　脱炭素の取組はあらゆる面での実施が必要。国と一体となって情報発信する。

高松　想定を超える災害を見越して、温暖化を止めるためには生活を変えてでも意識して取り組みたい。

【不登校対策】

高松　家から出にくい子供たちのための居場所をつくれないか。

教育長　適応指導教室に限らず、学びが多様に保証される社会になればと思う。

うきは市防災すまっぽんの画面とQRコード

厚生文教常任委員会

❶重層的支援体制整備事業に関する調査
❷部活動指導員について&市内唯一の県立高校への支援に関する調査

調査期日 令和5年10月25日（水）～ 10月26日（木）

調査場所 ❶宮崎県三股町　❷宮崎県えびの市

調査目的
❶介護・障がい・子育て・生活困窮といった分野別相談体制では解決に結びつかないような困りごとに対応するための包括的な支援体制づくりや、取組内容等の調査を行いました。
❷部活動地域移行について、部活動検討委員会の立ち上げや、取組について調査を行いました。また、市独自の予算をつけている県立高校への支援について、各種具体策の調査を行いました。

三股町

主な内容　生活圏域ごとに福祉課題が複雑・多様化している中、「うまくコーディネートできれば課題解決につながるのでは」という発想から事業をスタート。

「現代の雇用システムに馴染めない住民」をつなぎあわせる編集力・デザイン力が印象的でした。

「誰ひとり取り残さない社会の実現」に向けて、社会福祉協議会に頼るだけではなく、地域もいかに関わりを持つようなシステムを作り上げていくのかが課題だと認識しました。

地域に居場所を作る取組

えびの市

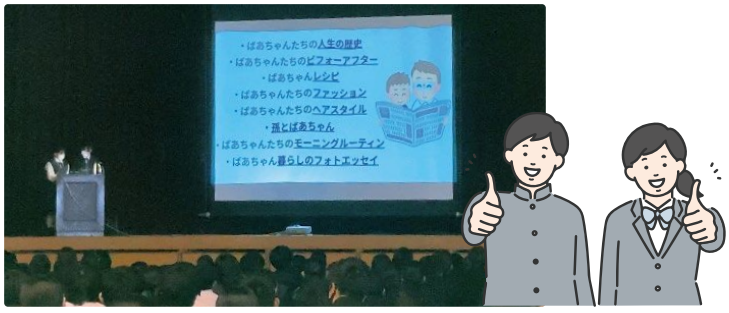
主な内容　部活動地域移行ついては、平成30年度に市立中学校部活動指導員設置要綱を制定、令和元年度には部活動検討委員会を設置し、取組を進めています。

市内唯一の県立高校に対する支援策は、①学力向上・就職活動等の支援②給付型奨学金支援③遠距離通学生に対する支援④下宿等に対する支援への予算が計上されていました。また、市と高校で人事交流が行われることで「業務のチーム化」を進め、高校側のニーズに着実に応える体制づくりを行い、市全体で「わがまちの高校を応援しよう」という雰囲気が醸成されていました。

定員割れが続く浮羽究真館高校活性化のための支援は充分であるのか、改めて考える機会となりました。

浮羽究真館高校2年生による課題研究発表会へ議員が参加！

11月9日に浮羽究真館高校で2年生による「課題研究発表会」が行われました。昨年度に引き続き、学校評価委員や保護者の方々と共に、うきは市議会議員も参加しました。



「フルーツを使ったお祭り開催」や「映えスポット強化作戦」、「農作業体験を小学校で増やす！」「浮羽究真館高校をHAPPYな場所に！」「畑人材派遣アプリ開発」など、実にバリエーション豊かな発表が行われました。

自分なりの視点で課題を抽出し、地域の特色を活かしたアイデアを提案している様子から、このまちでしっかりと成長してくれているのだなとうれしく感じました。

議会運営委員会にDX推進検討会を設置
～3月議会からタブレット端末導入～

議会運営委員会

私たちの日常生活の中でも当たり前になってきたデジタル化（IT化）ですが、市議会を取り巻く環境の中ではこれまで遅々として進まない状況でした。

そのような中、本年度の予算でようやくデジタル化を推進する第一歩として、議員へのタブレット端末貸与とそれに伴うペーパレス化を行うこととなりました。

議会運営委員会では、本年3月の定例会から導入されるタブレット端末を議員全員が有効に利用できることと合わせて、データやデジタル技術を活用した業務改革や経費削減、組織風土の変革を検討することを目的として、うきは市議会DX推進検討会を設置しました。

今後は、DX推進検討会を中心に有効活用のサポートや先進事例の調査研究等を進め、議員のみならず市民の皆さんにも便利で有意義な「次世代型の議会のあり方」を検討していきます。

うきは市議会DX推進検討会メンバー

左より　樋口委員　岩淵議運副委員長
熊懐議運委員長　権藤DX 推進検討会座長
高松委員　髙木委員

デジタル化（≒IT化）
・ITツールの導入
・デジタルデータ・デジタル技術の活用

＋

トランスフォーメーション（変化）
・組織の変革（業務改革・働き方改革など）
・ビジネスモデルの変革
（ビジネスモデルの転換・修正など）

＝

DX
（デジタル・トランスフォーメーション）

インターネットによるアンケートについては、うきは市議会のホームページから参加できますのでご協力ください。

こちらのQRコードをスマートフォンのコードスキャナーかカメラで取り込んでいただくと、うきは市議会アンケートページにつながります。

うきは市議会アンケート調査のお願い！

市議会だより74号でもお知らせしておりました「うきは市の議員定数および議員報酬」や、女性や若者がより参加しやすい政治のあり方について、市民のみなさんも一緒に考えていきましょう！

【 アンケート受付期間 】
令和5年11月1日～令和6年3月末まで

市民の声

地域活性化に貢献したい

石井 直人さん
吉井町福永在住
トマト農家、
ロッククライマー

吉井町のトマト農家です。資材高騰や気候変動の影響に加えて、販売価格低迷の中で奮闘しています。

仕事の息抜きに趣味のクライミングをしています。人工的な壁につけたホールド（突起物）を使って登る「ボルダリング」というスポーツの延長線上にあるのが、自然の岩を登るロッククライミングです。

11月末、浮羽町鹿狩地区の河川で、うきは市で初めてのロッククライミングイベント（UKIHA ROCK）を行いました。県内外から延べ100名の参加がありました。

普段は静かな渓谷に賑わいのある2日間でした。今後は、鹿狩地区に岩登りに訪れた方が、市内の商店等を利用してくれることで地域活性化に貢献できると期待しています。

このイベントを通して、自分達の起こした行動が地域のためになる事はとても素晴らしい事だと感じました。

これからも自然を大切にしたいと思います。

「市への要望」

うきは市へ人を呼ぶ活動を積極的に応援して頂きたいです。

スポーツアクティビティ施設（ボルダリングジムなど）を増やしてほしいです。

仕事関係では、農業従事者への支援を増やして、継続するように要望します。

とにかく自営農業者には厳しい時代です。

議会を傍聴しませんか

3月議会定例会は
2月29日（木）開催予定です。

一般質問は
3月4日（月）
3月5日（火）
の予定です。

Youtubeのライブ配信と
録画配信もぜひご覧ください。

表紙紹介

昨年に引き続き、浮羽究真館高校の生徒さんが議会傍聴を体験しました。

「議員がうきは市のことを一生懸命考えているのがわかった」「もっと早く参加すれば良かった」という感想に励まされる思いです。この体験をきっかけに「若者たちに政治がもっと身近になれば」と願っています。

編集後記

令和6年がスタートしました。

今年こそは良い年になるだろうと思っていましたが、一月一日能登半島での地震発生や飛行機事故のニュースで、何とも辛い気持ちの幕開けとなりました。被災地の一日でも早い復旧・復興を心より願うばかりです。

さて、私たちうきは市議会は、市民のみなさんに「議会に関心を持ってもらうため、開かれた議会にしよう」という思いで、この2年間いろいろな取組を行ってきました。現在は議員定数や報酬等の問題について市民アンケート調査を行っています。議会に対するみなさまのご意見をアンケート調査でお寄せいただけたら嬉しいです。

みなさまのご協力をお願いします。

（野鶴　修）

■ 発行責任者
議　　長　江藤　芳光

■ 広報広聴委員会
委 員 長　野鶴　修
副委員長　岩淵　和明
委　　員　樋口　隆三
　　高松　幸茂
　　髙木　亜希子
　　権藤　英樹

議会事務局
TEL. 75-4990
FAX. 75-3342

本文はUDフォントを使用しています。